



ひ。ひ。た。よ。り

NO.13. 2017. 3. 17

絵本「ちいさなうさこちゃん」で知られるオランダの絵本作家デイク・ブルナさんが先日亡くなりました。赤ちゃんも子育てもよくわからないこの新米母さんが44年前にしたことは、たぶりの絵本タイムでした。0歳児のお気に入りは、「うさこちゃん」でした。シンプルな絵は、赤ちゃんにとってわかるやさしかったのかもしれません。我が家家のうさこちゃんシリーズはわが子たちと家庭文庫に通って来ていた子どもたちに読み継がれ、ぼろぼろになつた今も、修理されながら、孫たちの間を回っています。ブルナさんの死は、私の子育ての始まりを思い出す時とありました。子育ての原点のようなことを思い出していました。

幼稚園の子どもたちにもたぶりと絵本を手渡したいと思いつながら、東京での仕事でいました。親子が解放される場所はどこなんだろ。そのためにどんなことかできるんだろと考えながら、何か大きな力に導かれるように、東井沢の森のよらえんを開けられました。たぶりの自然とたぶりの絵本があれげ何とかなると思っていましたが叶いません。2歳児でも言い易い「ひび」という名前は、育土家の次女 日菜子さんがアインアとくれました。ひびマークの鳥に代表される自然と、「長つれたのピッピ」に代表される絵本を意識していました。

生まれたての赤ちゃんだったひびが家族に守られてから、泣くたびに世話をされ、心地よさと安心感を持ちながら育つました。「発見して感動して」の一歳、「走って転んで」の二歳、自己表現もできるようになると三歳。…そして10歳になっていました。11歳からどう歩んだろ。どう歩めばいいんだろ。肩に力が入つてしまひ、考えて、考えずと考えていた一年でした。閉じられた空間でない森で、場の下りゆきにゆだねやすい自然の広がりの中、肩の力が抜けていました。子どもたちと雪の上の糞や足跡をゆくゆくしながら走っている、ゆったりして時間が嬉しくてたまませんでした。下って下りか、育つものなんだ…」と思える育ちの瞬間に出会い、深い喜びを胸張りました。ゆくゆくと思う存在、体といふを解き放ち、伸びている子どもたちと、一緒に生活しながら私も自然体を取り戻していました。

1. 2月のある日、屋登りをしていてもうすぐ頂上という所で、私の先を登ついた空太くんが振り返り、何も言わずさりげなく手を差し出しました。そして数日後、同じような場面でれくんが「手貸すか」と、言いつながら、手を差し出してくれました。そしてしばらく後、上に到着した咲立くんが「がんばれー咲立!」「大丈夫か?」と声を大きくして応援してくれました。まだ若い人達と同じように登つて居るつもりでいましたが、もしやしたら年老じてからペースで登つているかもしませんが、三人の配慮は、私で感動しました。子どもも大人も関係ない、信頼関係を築きました。子どもも大人も助け合っている方がいいんだと思いました。そして保育という仕事は、本当にシンプルでいいのか、子どもたちを負けとめ、でかい保護者の方たちと一緒に歩む。10年前と全く同じで、何も見負うことはないのだと思いました。

まだどちら歩きの頃の私は、自然の中での保育の可能性を実感していました。子どもの育ちの場としての可能性は大きいと思います。そして、親子のためにと始めた森のよらえんでしたが、保護者が前例や先入観や思い込みから解放されました。

来月からの11年目、今度と同じように子どもたちも保護者の方も保育者も、この程度感情を味わい、放开心を大切にしながら、心の自由を求めて歩いていきたいと思います。アイルラゴの歌の歌詞を歌われた歌の言葉が心に残っています。

きっとあなたも 心を開いて会話をすれば
魂が通じ合える。 たくさんの人と出会えるわ。

武蔵くん、蒼空くん、遙くん、すみれくん、真寛くんは、もうひとつ大きな世界へ歩き出します。その他の「心が樂にする魔法の言葉」を見付かれます。

奏くん、朝太郎くん、どこにいても幸せでいて下さい。

保護者の皆さま、この一年も応援して下さい。信頼を寄せ下さり、ありがとうございました。又、この度は、皆さまから、記念としてカーネットを頂戴いたしました。来年後回目の森づくりの日に取り付けさせていただきます。きっと子どもたちの楽しい遊び場になりますと想います。ありがとうございました。

本日お渡ししました「育ちのカード」は、スタッフみんなで何度も話し合って書き込んでいました。力不足の表現もありましたが、また来年に引き継がせて下さい。今一つ大きな喜びと共に登園してくれる子どもたちに会えるのを楽しみにしてます。：眞弓

ああきいくみだより



3月、残るああきいくみの日は残りあと5日。朝のあつまりのあ名前呼びをああくりさんにとってもうることに。最初の木曜日は武蔵。次の月曜日は遙人。すると碧空「明日は俺ね。」とやる気満々。翌日のひびの日もあ頼むいすることになりました。その翌日から毎日、真實、すづめと続き、また再び武蔵へ。ただ今2巡回です。

2月の最終週から、ついにまつぼっくりも混じえてのオペレッタが始まりました。毎回、演じる役を替えてじっくり自分のやりたい役を決めていきます。まつぼっくりの人たちも実際に堂々としたもの。人気は海賊役ですが、ある日、穂岳一人だけ。けれど大きな声でしゃかり海賊の歌を歌い、翌日は泉の精に。優雅なメロディーを空太、大夢の男子三人で美しく歌い上げました。歌の大好きないろははこの泉の精があ気に入り。それでもコンドルやゴリラをやればし、かり演じています。当日は何の役を選ぶのでしょうか。みんな、明日は何をやろうかといろいろ考えて「明日はふくろう!」「コンドルにする!」と遊びの中でも会話を飛び交い、オペレッタの歌を口ずさんでいます。

ひびの森も大分、暖かくなりて地面がドロドロの日が続き、足元の悪さを避けてしましば紅葉谷へ遊びに出掛けました。最近は、崖に真、先に上から行くのは悦己、植木さくら。他のまつぼっくりもそれに続き、さらに橙李もみんなの後を追いかけて来ます。ああきいくみで崖登りを始めたころは恐る恐る登っていた人たちが、このころ本当に意欲的に崖を登る姿が見られます。涙もあたけれど、たくさんの崖登りの経験が子どもたちの中に石壁実に積み重なっているのでしょうか。以前使っていたひび前の崖から少し右側の斜面を登り、紅葉谷へ下る崖ルートが出来ました。結構な急坂。崖登り得意の大槻を先頭に、天音、羽路斗、大夢が続きます。その後ろから悦己、植木さくらが、自分のペースでじっくり登り、やがて頂上から「あーい!」と手を振ります。紅葉谷大好きの碧空もとの後を追い、しばらくすると紅葉谷から「たたいてー!」と帰ります。

先日、4歳の誕生日を迎えた奏人。「4歳になら何かしたい?」と問うと「オレ、4歳になら『あひだよクラフ』に行くんだー。」これからやって来る変化を奏人なりにいつまで受け取め、いろいろなことを考えているのでしょうか。本当にまつぼっくりの人たちは、話し合いででも自分の思いや考えをしゃかりと言ふことが出来て、毎回、面白い意見が沢山出て来ます。涙にぬれてしまうこともまだまだあるけれど、まつぼっくりの人たちがこの一年で本当に成長し、このころ、自分の足でぐと踏みだす姿を見ることが夕方になりました。

去年の今ごろは、まつぼっくりさんたちは今のどんぐりさんたちと同じだったのだなあと鬼ふと、ああきいくみにかけてからのこの一年の育ちに本当に驚きます。週3日のどんぐりの生活から、週5日ひびで連続した日々を過ごすようになり、集団遊びやカリキュラム、話し合い、運動遊び、火のあい仕事。たくさんの経験の積み重ねが今のまつぼっくりの姿を作り出しているのですね。家庭から離れて集団の中で過ごす経験が子どもにとって如何に大切なものであるのか、保育士に丁寧に初めての一年を終える今、改めてその大切さを痛感しています。そしてその時を子どもたちと共に過ごせるなどを喜んで感じるので、私も自身が一人の人間として子どもたちと共にいるということ、見守るということはどういうことなのかを考え続け一緒に成長していきたいとひびから願っています。

そのああきいくみでの3年間をしきり過ごしたああくりさんたち。今度はひびの外の世界に飛び出していきます。5人がそれそれにどんな出会いを待つのでしょうかにやが来るのか。それも楽しみ。

春からのああきいくみは仕事や役割に意欲満々のくりか新規ああくりに。ああくりになれますかの力を発揮してくれるのではないかと思ひます。新規になれるまつぼっくりはさらにああきいくみとしての出番が多くなり期待いっぱい。そしていよいよどんぐりさん、新規まつぼっくりに! 週5日のああきいくみデビューです。ああきいくみの仲間と一緒に、新しいこと、楽しいこと、ちょと大変なこともいよいよいい経験しますね!

(敬称略) 律子

三澤期のエピソード

・散称略

武	武蔵	蒼空	遙人	なつめ
真	真寛	大櫻	礼	空太
果	果乃	綱	咲美	立
天	天音	碧	いろは	穂
橙	橙李	夢	悦己	植木
奏	奏人	真永	澄怜	朝太郎
英	英志	玄太	折原	渚
友	友佳梨	沙季		

・おと日いち順

②=どんぐり

④=キツボウグリ

△=スタッフ

三澤期初日、雪が覆いつぶされたひびきの森が予想通り出来ました。國^金遙^金寛^金空^金はつまあたり山道を走り三昧。④綱^金果^金ひはペアで11:30で周回道路を走る距離を競ってます。夢^金園^金天^金は周回道路を三人制で奇声をあげてます。一緒に来た①は横を見てます。植^金は放置されていたり手にレモンが滑り出せばいい。③がやって来て、⑤の手を見て、「これ壊れると②に言ふ来ました。②「手の所だけだから滑るのは大丈夫かも」と言うとママと坂の上へ行きながら乗る③。④「さくらちゃん、早く~！」急いで坂を登って行く⑤。⑥と二人で滑っていました。

朝から面白い氷やつら、雪の塊を集めていた⑦と⑧。そこへ武^金も加わりこれはトドケトラスの足の骨。これはティラノサウルスの指の骨と飾り始め見ていた^金「そりに乗せて兔に行こう！」と面白い提案。兔に歩いたものの⑨「大きいのは見るのが大変だから博物館にいこう」、武^金「博物館は子供がもっと沢山集めないと」と張り切ってあちこちから氷や雪の塊を集め並べています。いつの間にか⑩たちも「入れー」と入っています。⑪折^金綱^金ひは^金「これは見るだけだよ。このつらだから」と説明しています。⑫も「さうりやうせん」「DVDに出てる」とかわっています。寛^金が⑩たちに「恐竜って見たことある？」、寛^金「なー！」口までの字にはます何も答えてない^金に寛^金「さくらちゃん、恐竜ってわかる？昔いた大きいの。TVとか本で見たことある？」と答えていた表情の^金。⑬は、よく博物館からねのかたちで面白い楽しい雰囲気と一緒に味わってます。⑭は「こっちに並べたら」「革のお金を持ってて言つた」と積極的に発言していて、置いたままでも車いすで乗りました。

ランチ後、薪棚の雪をろして下まつて雪山を踏み合にして薪棚の屋根に乗つて遊びました。武^金はさすがすぐに上りました。⑮遙^金寛^金がなかなか登れなくて苦戦していると國^金は3つと手を貸して引き上げてます。武^金が他の戸もやりたいのを助けてもらうも「ありかとうなどやう」とはないが、あらと云う自然、その後天^金が苦戦していると今度は綱^金が天^金の足を持ち上げて助けてました。

⑯の誕生日祝いの日、前に出ている⑯に皆からの直向コーナー。^金「ほんのケーキ食べる？」^金「いちごのケーキ」^金「どうもいちごケーキ食べて」②「悦くんは、今日がお誕生日。ちがうど今頃生れたんだって」トト4歳のスタンバードにて^金「おれのお子さんには死んじゃった。そのうせんばつお猿香あげたんだ」と(笑)。一日中樂しそうに遊んでいた^金でしたが心の中では家族の死に向かい合って「うう」と想ひがめぐつているのだろ^金う。

今日のデザートは、白いカボチャを蒸したもの。少しどぎ十魔を出すためにお好みで粗糖とシナモンを振りました。^金は、シナモンをかけて完食したのに「シナモンいいへ！」と笑ってます。「いいね」と言った^金に③「牛乳に牛乳から少しだけ挑戦してみる？」ひとやすりを口に入れると^金「あーいいー！」と結果2回成功^金ほげて。おにぎりを食べている時は、他の人と「デザートいらなかった」と話していた^金が最後の最後に来て、「デザート下見、さすがに大きすぎだから」何とか、大きい塊が残つてセーフ! 完食しました。

④^金⑤^金⑥^金⑦^金が朝の隼利のあと走りを始めました。^金もまた家から走りを停めて走りを始めた^金。⑨が^金にぶつかりて倒れました。すぐに^金「ほんせん、しゃん」^金「ごめんねだけじゃためたんだよ。もう一つ言ひたかったんだよー！」^金「ごめんね、この言ひ方もあるんだよ！」と^金は必死に伝えていますが^金は、怒らずに、みんなの様子に苛立つた感じの^金「金」とは、もう遊ばない! ②「もう一つって何？」^金「金は、ごめんねって言つたよ」^金「^金の話をしっかり聞いてあげて」しばらくして^金は、そり遊びの輪から外れ、「大櫻くん、さくらはごめんね」と伝えていました。

朝の隼利前、③が手話をしながら楽譜を見つめると、^金「モニコレモニコレ?」^金「モニコレモニコレ?」^金「さーちゃん、この二曲どちらがいいと思うんだよ」^金のやうに、本当に難しかった歌です。

このところの片づけの状況から、少しサントと片づけのことを話す会話ということに決まりた。物置後ろで、遊んでいた子供たちが片づけていたのは黒③=2~3回。声かけ。他の人たちにも「お片づけお願ひします」と何回か声を掛けた回数が何とか。ぶらぶら歩いていて、今自分で使っていたら関係ないという感覚です。片づけの動きが止まらない?というところ。それで置き場所に集まつもらいました。②「お片づけを見てどう思う?」「ぐるぐる~!」と一緒に声が上がりす。片づけ終ったと帰ってから、遅くなってしまったこと、絵本を読み時間かかってましたと伝え。②「片づけはやらずともいい?」第一回は「だめ~!」③「どうして?」④「どこにあらかわからなく見えるから」⑤「え)出来なくなる」⑥「雪が降ったら埋まつて見えなくなるから」ほほ。みんな片づけで困るか?という意見。⑦「絵本読みたいから。もっといやく。片づけのススメですか?」「いいよ!」⑧「それで遊び時間が早く終わる?」などと「ダメ~!」片づけの話はしばらく続きました。

ランチ後、トイレ前に、雪溶けの水がぽんぽんと落ちるのを黒③が立ち止まって見ています。近くにいた④もそれに気づいた様子。⑤がフードを被り、雨ふくに濡れると⑥も真似して濡れています。⑦バスから出てきた朝①もすぐそこに来て来、手のひらで雨ふくをぬけていこう。⑧は、⑨に「フードを被るんですよ」とやめてあげようとしました。⑩は、はじめ強張った表情でしたが、フードを被せてもうと実顔で雨ふくに濡れていました。

もうすぐランチという頃 黒③「穴を探しに行こう!」②「じゃあランチ後かい食べて行こうね」玉川⑪に食べ印した黒③「穴を探しに行こう!」②「あ行こう!」近くに一人でいた黒⑩も驚い、3人で、隣りを出発。入った土地は雪深く、スピッスボットと、10cm以上。理も立てています。その後に2人共車ふくよりも多いですか?木々の周りにはたくさんの穴。「リスがいるから」「リスがいるから」「あー、リスがいる」と穴探しを楽しめました。観川⑫は、雪の山の中へしていました。黒③は落ちている細い枝を玉川⑪集め、「枝キーパー!」。玉川⑪は「枝キーパー!!」2人は何度も喜びます。起き上がりながら一苦労の雪の探しでした。②「困った時や怖かった時などありますか?」黒③は向かって答えていたのか?②の後玉川⑪は「えーん、えーんってあります?」③「えーんえーんってあります!大人は助けて!って言つてみんなでよ」謹の模倣かわかる黒③は「助けて!!」と笑つていました。

黒③「何が面白いに黒③が棒を持った」と聞いています。黒③が立っている黒③。その横で座りこんで見ている黒③。黒③がリヤフを黒③が黒③に持ててます。小さな声で黒③「うんうん」。黒③が声をかけられました。②「さあねと言つて黒③の気持ちは取まるの?」首を横に振つて黒③。黒③には、何が叶つたか、何が困つたかと言葉で伝えあげると伝え。二人で「うんうん。いいよ終らせたいよ。ね」と伝え。他の子のトイレで、玉川⑫離れて黒③の所へ、玉川⑫して黒③が来て「もう大丈夫だよ」と伝えて来ました。玉川⑫見ていたのか?…他の日には、2人に黒③「りんかい列車をね」と言つていました。

自分で持参してソリを滑りたい③は、帽子も手袋もつけていません。③「ソリを知らない。頭と手を守るためにしてて行くでや」と伝えると、いつもは嫌だと感じるのに、今日はみんなで荷物の方へ、3人で笑顔で、戻ってきてました。でも思った以上にスピードが出るのか、滑りこなすか「前に誰かのつましい。後ろのりんかい」。前のことよ「あくせいはいた~一緒にのつま~」と、訴えていました。大きい人は、2連軸でギーギー盛り上げています。玉川⑫へ「2人のりんかいある」と黒③と④。黒③が黒③の声を聞かせて「はあ。私が前にのつてあげるよ。のりんかいと待つて!」一回思いきり黒③と滑り、黒③は本当に嬉しそうでした。

父の黒③、赤ちゃんの黒③と黒③。お母ちゃんの黒③のからだ。バブバブハイハイの①黒③に雪のじはん(何)の黒③。父の黒③は豪快で「ちよつとお風呂 こわいから買ってくれ!」「買ってくるの?お風呂?」と待つてると、黒③「買ってきなよ~!お湯も入ってます!」と雪を満載したタライをえらり引っぱってきて、みんな「すいー!!」とその雪のタライに跳びます。「あつたか~!!」黒③の手は、アイデアは、じこで作成されました。

朝の集会で落着いて座つている黒③。「世界中の落着いたが」の歌が始まり、「世界中の子供たちが」などと歌つたら、空も歌うながら~ラララ~のところを黒③「そらは、歌つて、歌つて歌つて歌つて」と歌つた。笑つてしまひました。

片づけの餘が鳴ると黒③「お片づけしてて言われると片づけにくくなるの?」「はあお片づけしてて下す」黒③「ええ~?」③「黒③ちゃんが」してて言ってましたくねるって黒③「黒③は、けいだて言つたの前店」②黒③、片づけに下す!黒③「うんとお片づけがお片づけ!」黒③「あーん!」して、何言ってるか?けいだなくてねた

泣いてる私が あち = ちに = ハニコの日。私の隣の集刊が「泣いた」の絵本を読みながら ②「今日 泣いてる人いる?」 明鏡 植木 「ハーハと手を握げまわ。」 ほんはすーと 泣いていました。そんないで 泣いてません」 ③「どうに 泣いたの?」 植木 と 寒川に 抱かう! って 言われたから」 植木 「ママがいって 泣いた」 明鏡 「誰も聞いてくれなかつたら、オーッと 泣いた」 ④「誰も聞いてくれなかつたら?」 明鏡 「うーんとほじめは。」 ⑤「やめてって 言て 泣いたんだね」 オーッと 泣いたら、悲しくなつて。大丈夫? とか 誰も言ってくれなかつたら、泣いてもと 大きな声を 泣いた」 他の人は ⑥「泣いている人を見て、何か言つた?」 ⑦「大丈夫? って」 ⑧「どうしたの? って」 植木 「ほんはもう泣かなくともいいんだけれど 言つてあげた」 ⑨「大嫁? って 言つてくめた時 どんな気持ち?」 植木 「ちよつと うれい。泣くのがめつからつて思つた」 ⑩「どうくん。ママハーハ! って 泣いて、ほんがハーハー うーんうーんで 泣いて、ほんが泣いていません」

（植）が（鳴）にからかうやうに押レた！叩ハタリしている。〔鳴〕は、小さい声で「やめて」、〔笑〕は「えへん、えへん」と返して叫んで、「えへん！」と叫んでみたら？」「（鳴）」「ダメ、泣いてから」「えへん！泣いてから泣いてから」。いやあさ、思ひ立つて大きくて怖い声で「やめろ！やめろ！」と言つて叫ぶのはどう？」「（鳴）」「やめろ！」と叫ぶ。〔笑〕は「おと怖い声の方でいいよ、そりやかないと伝わらないよ」「やめろー！やめろー！」と思ひ立つて叫ぶ（鳴）。〔植〕は、目をぱちぱちさせ（笑）。

日本は陽差しが多い暖かかったの? ⑪バス前に長椅子を並べてオヘツ着元。スニ「マジン
濡れちゃった」と⑫「が」加わり。気づくと、泥の中を車んぞあわ向げにはほついた⑬「も」加わり。着替え
中の⑭沙渚⑮永と共に⑯女子が山一山一キャキャーしてます。その後、⑰「やめて! やめて!」
と大子厚声。⑮と⑯が上の段の長椅子に並んで座って歌を歌っているのが。⑭は鼻に入ら
ない様子。⑭の横にいた⑯が突然⑮と⑯の口を塞ぎました。すると、⑮と⑯も手を振り
手からして応戦。⑭も加わり。2本のバトルが繰り広げられ、石油ほど激しく叩かれたのは珍らしく
⑯が大泣き。それに応じて⑮も泣き始める。⑰と⑯は、あちゃ…という感覚で二人を眺めて
ます。⑯がんばると「手だけんかいしてる」⑮は代謝せざる着替えをしてます。

がくかんす正在进行る。◎女子数人、そに、**桔**「入一中一で」、**沙**「だめよ」、「入一中一で」のよを繰り返し、**桔**も疾くうらぎ、せんぱいでござり、**沙**は、なまなま、いつのうへとく笑ってござり、◎他にどんぐりさんから、おてみたら? おげんくじから、**桔**「いいえ、レウル！」と嬌声で報告にかけられ。

オレも着元をしてる②の所へやで来な。③「けんかんは、あしたびっびを 手休
可ね④」「山か」それだ、どうしておか? ⑤「カカ カ休んかい」と言つた。〇〇〇見ゆ
⑥「山か」また、山か又明日、放て下さい。⑦「ラム!」と満足だ。それで次の日朝
⑧に抱っこ土にやで来た⑨。⑩「さきん!!カカ オカカ」 にこにこと笑つてゐる⑪。抱
っこを交替ひて、互いに⑫とお別れほひて。

「崖のぼり」が始まりました。先に登った立場が崖の上から、「せんぱれーすか！」
「大丈夫か？ まゆー」と、叫んでいます。春と羽がなぜか自分たちに声をかけてくれている
の立と思ってらしく、春「立くん 待っておるわ」羽「やエいわ」と満足しています。
羽が先に進む。春は「レスねーいる？」春「レスねー来！」鳥はうに春に駆け寄る羽。

入園の集いのご案内

新しくひろひろの仲間にほめた新どんぐりさんと共に 親子一緒に一年の始まりの日を過ごしたいと思ひます。

日時) 4月11日(火) 登園 9時~9時15分
降園 12時半頃

場所) ひょうひの森

持ちもの) いつもの着替えなど、雨具、帽子、温かい和茶、軍手
親子分の 手足・手腕・お箸やフォークスプーン

*入園の集いに 兄姉が参加される場合、ランチの準備が無いものとし、預め、料金
として、子供 300円が必要となります。子供用の籠も用意いたします。